

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21911
事業名	社会福祉協議会運営等補助金					
評価担当課	所属名	保)総務部 総務課				
	課長名	高橋 俊範	担当者名	阪井 亮太	電話番号	011-211-2932
施策名	主	市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	行政のみでは対応できないニーズを解決するため、地域住民が主体となる活動を推進する。			
		長期	札幌市の地域福祉力の向上及びセーフティネット機能を強化するため。			
	取組内容	地域福祉活動の担い手の育成や権利擁護支援に資する取組など、地域福祉の推進を目的とした事業を展開している社会福祉協議会に対し、人件費・事業費の補助を行う。 ・日常生活自立支援事業 判断能力の不十分な高齢者や障がい者が地域で自立した生活を送るための支援 ・ボランティア振興事業 ボランティア活動等の推進を支援 など				
実施結果	日常生活自立支援事業やボランティア振興事業など、幅広い地域福祉活動を実施し、札幌市の地域福祉力の向上に寄与した(日常生活自立支援事業契約者183件、日常生活自立支援事業における権利擁護に関する相談・調整件数19,639件、ボランティア登録者数33,866人)。					
事業実施における工夫点	年2回実地監査を行い、事業効果等を確認しているほか、予算査定時に事業内容を精査している。また、必要に応じ札幌市と社会福祉協議会で事業内容等に関する協議を行い、適正な事業実施に努めている。					
対象者	市民	開始	昭和27年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	社会福祉法					
他都市の状況	他政令市においても、社会福祉協議会に補助金を交付し、地域福祉の推進に努めている。					

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		475,856	475,000	471,305	479,000
うち特定財源		94,785	105,891	86,364	94,985
人工		0.8	0.8	0.8	0.7
人件費		5,760	5,760	5,760	4,680
計(事業費+人件費)		481,616	480,760	477,065	483,680
事業費の内訳	令和3年度決算	471,305千円 【内訳】 事務局人件費:149,493千円 事務局運営費:22,657千円 事業費:299,155千円			
	令和4年度予算	479,000千円 【内訳】 事務局人件費:153,935千円 事務局運営費:22,326千円 事業費:302,739千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	各種ボランティア研修会開催回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	101回	143回	126回	184回	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	福祉活動に参加する市民(福祉のまち推進事業、福祉除雪など)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	31,179人	31,679人	31,486人	32,179人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	福祉推進員・住民協力員や地域見守りサポーターなど福祉活動に参加する市民は、令和3年度は31,486人であり、令和2年度の31,179人からほぼ横ばいであった。また、事業実績としては、ボランティア相談・需給調整件数3,271件、各種ボランティア研修参加者数5,677人といずれも令和2年度に比べ増加したが、コロナ前の令和元年度よりは減少している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	事業の実施にあたっては、同団体と事業内容等に関する協議を行っているほか、事業終了後に提出を受けている実績報告書や年2回実施している実地監査等によって、適切な事業効果が生じていることを確認しており、事業規模は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	社会福祉協議会は、社会福祉法に地域福祉の推進を目的とする団体として規定されており、事業の担い手としては適切である。実施手法については、毎年の予算要求時に精査しているほか、社会福祉協議会との定期的な協議等により、適宜実施内容の見直しを行っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年度は新型コロナウイルスの影響がある中で、令和2年度と比べ、福祉推進員・住民協力員や地域見守りサポーターなど福祉活動に参加する市民はほぼ横ばいを維持した。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	高齢化の進展に伴い、市民が抱える福祉課題は複雑化しており、社会福祉協議会に求められる役割も年々変化している。また、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大による市民活動の低下がみられたため、福祉活動に参加する市民の増加を図るよう努めていく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	福祉活動に参加する市民は、令和2年度からほぼ横ばいを維持した。増加とならなかった原因として新型コロナウイルス感染拡大による市民活動の停滞が考えられるため、アフターコロナにおいて福祉活動に参加する市民の増加に繋がるよう手法等検討していく。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 札幌市の地域福祉の推進を図るため、次年度も引き続き事業を継続する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 適宜事業の見直しを行うなど、効率的な予算執行を図る。		見直し効果額	0